

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2014年5月20日発行 第133号 (毎月1回発行)

- スケジュール (5/22~7/14) P3
- 教務からのお知らせ P4~P6
- 事務室からのお知らせ P7~P9
- 進路支援からのお知らせ P10~P11
- 生徒支援からのお知らせ P12~P15
- 14年度聖句 (ミニ手話コラム付)

<同封物>

- 「学習アシストルーム」の申込書 (桃) <全員>
- 「フィジカルサポートスペース」のご案内 (カラー) <全員>

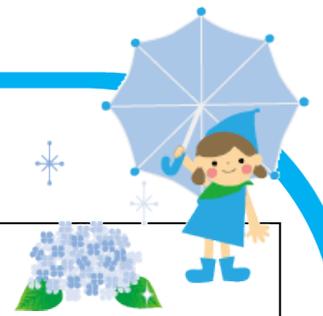
●前期のレポート提出最終締切日は、7月10日(木)です！！

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページで閲覧できます。
「教員ブログ」(月・水・金)も更新中です。本校のホームページをご覧ください。

今月のメッセージ



『—自分で歩く、ともに歩く—』

サッカーのワールドカップまで1ヶ月を切り、全日本の代表選手23名が発表されました。みなさんの予想はいかがだったでしょうか。サプライズがあったり、ひいきの選手が選出されたり、されなかったりと悲喜こもごもだったのではないのでしょうか。

その代表の一人である本田選手が12歳の時に書いた作文が、彼がセリエA移籍時に有名になりました。「ぼくは外国から呼ばれてヨーロッパのセリエAに入団します。そしてレギュラーになって10番で活躍します。」そう書いた彼の夢が実現したことで、有言実行となったことへの、称賛と驚きがありました。それ以前にもう一人、12歳の時に書いた作文の夢が実現し有名になった野球選手がいます。そう、メジャーリーガーのイチロー選手です。「ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校と全国大会に出て、活躍しなければなりません。活躍できるようになるには、練習が必要で、ぼくはその練習には自信があります。」と書いた彼が、世界で活躍する一流選手となりました。

小学生のころ、「Jリーガーになりたい」「プロ野球選手になりたい」と書いた人は多いと思いますが、ここまで具体的に目標を立て、そのために何をなすべきかを分析し、必要なことを考えて書かれた人は少ないのではないのでしょうか。そこには人からやらされているのではなく、自分でやるんだという思いが強く感じられます。

このことは、単位制・通信制の本校の生徒にとってはとても大切なことです。それは、全日制の学校であれば、学校が準備した時間割をそのまま受け入れればよいものを、本校では自ら選択し、目標を立てなければなりません。そして、その目標を達成するために、自分のスケジュールをきちんと調整していかなければならないからです。「自ら学び、自ら習う（自学自習）」。このことを経験し、体験するということはとても素晴らしいことです。ですから、これを体験して卒業していった本校の生徒には胸を張って社会へ、また次のステップへと進んでもらいたいと思っています。

イチロー選手が一度だけお父さんに野球を辞めたいといったことがあるそうです。それは、彼が高校生の5月の時でした。そのとき彼のお父さんは、「後悔は先に立たない」という言葉とともに、彼に寄り添い、見守り続けたといえます。みなさんにもYMCAという学校、先生方が一緒にいます。そのことを忘れずに、ともに歩んでいきたいと願っています。

————— 本校の卒業要件 —————

- ① 高校に3年以上在学すること。
- ② 74単位以上修得すること。
- ③ 必修科目は履修認定を得ること。
- ④ 「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。
- ⑤ 特別活動に30時間以上参加すること。

(『2013年度版 学務の手引き』より抜粋)

スケジュール(5/22~7/14)

日		行事予定など	
		5 月	
5/22	木	特別活動：「ハイキング」(校内掲示で案内)	
5/23	金	特別活動：「第1回進路ガイダンス」(卒業年次生対象) 15:00~15:50	
5/24	土	特別活動：「街美化ボランティア」(予定)	
5/26	月	特別活動：「第2回進路ガイダンス」(全年次生対象) 15:00~15:50	
5/29	木	講座「五感で自然を感じよう」実習日(10:00~16:00、堺自然ふれあいの森) 〔学習状況報告(1回目)〕発送予定	
5/31	土		
		6 月	
6/1	日		
2	月	講座「総合的な学習の時間A」校内スクーリング(校内掲示参照)	
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月		
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月	前期「放送視聴申請」申し込み締切日	
17	火		
18	水		
19	木	〔学習状況報告(2回目)〕発送予定	
20	金	講座「総合的な学習の時間A」校内スクーリング(校内掲示参照) 〔学校通信〕発送(予定)	
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木	特別活動：「音楽鑑賞会」11:00~12:30(校内掲示で案内)	
27	金		
28	土	保護者とともに進路を考える会(今年度卒業予定者の保護者・生徒対象)、 特別活動：「街美化ボランティア」(予定)	
29	日		
30	月		
		7 月	
7/3	木	〔学習状況報告(3回目)〕発送予定	
7/4	金	特別活動：「ホームルーム」(予定)	
7/8	火	学習アシストルーム最終日	
7/9	水	前期通常スクーリング最終日(体育b・cの補充スクーリングを除く)	
7/10	木	前期レポート最終締切日(窓口17時まで。当日郵便消印可)	
7/11	金	講座「体育c」補充スクーリング(体育c1・2:2-3限、体育c3・4:4-5限)	
7/14	月	講座「体育b」補充スクーリング(体育b1・2:2-3限、体育b3・4:4-5限)	

教務からのお知らせ

【レポート提出】

- 各レポート用紙には、バーコードシール貼付（レポートの回数番号に注意し、正しく貼付のこと）を正確に行い、提出期限を守ってください。
- レポートにバーコードシールを貼り忘れるとレポート提出確認ができず、また返却もできませんのでバーコードシールを貼り忘れないよう注意してください。
- 多くの講座で、レポートの提出期限は、関連のスクーリング日のほぼ1週間後としており、各回の期限に遅れると評価が下がります。
- 出し遅れや再提出評価の場合でも、最終締切日（7月10日）までにあきらめずに提出しましょう。
- レポート提出に関する事務取扱いについては、「事務室からのお知らせ」（P.8）と『学務の手引き 2014年度版』（P.8～P.9）をご確認ください。

【スクーリング代替課題とそのバーコードシール】

- スクーリングの必要出席時数が多い一部の講座（理科の一部の講座、英語の一部の講座、芸術の各講座、体育の各講座、「家庭基礎」「家庭総合」、宗教の各講座）には、「スクーリング代替課題」があります。
- スクーリング必要出席時数が不足する場合には、この課題を提出し合格すれば、スクーリング出席に代替できます。
- スクーリング代替課題は、クリーム色の用紙に印刷され、該当講座のレポート袋に入っています。
- お手元のバーコードシールのうち、スクーリング代替課題がある講座のバーコードシールは、【●代替課題1】のように、その講座略称の前に●が付いていて、●のない通常レポート用の後に印刷されています。貼り間違えないように注意してください。
- もし貼り間違えなどでシールが使えなくなったら、事務室で再発行してもらってください。
(1シート100円)

【「学習状況報告（1回目）」の送付】 5月29日（火）

- 前期の講座登録者に、「2014年度 前期学習状況報告（1回目）」を5月29日（木）頃、発送する予定です。
これには5月28日（水）までの「スクーリングの出席時数」と「レポートの提出状況」一覧が記されていますので、必ずご確認ください。
- スクーリングの出席時数を確認し、残りのスクーリングについては、各講座の「学習計画表」と「個人時間割」で確かめて、必要な出席時数をクリアするよう注意してください。
※「個人時間割」を失くした人は再発行できますので、事務室で手続きをしてください。
- レポートの提出状況を確認し、未提出のレポートは、早めに提出するようにしましょう。
- 2回目の「学習状況報告」は、6月19日（木）頃、3回目の「学習状況報告」は、7月3日（木）頃送付の予定です。
- 「学習状況報告」の記載内容に誤りがある場合、質問等がある場合は、担任までご連絡ください。

【特別活動について】

- 卒業要件として、30時間以上の特別活動への参加が必要です。
今年度入学生はもちろん、以前からの在校生も、『学務の手引き 2014 年度版』(P.13～P.14)の特別活動について、もう一度確認してください。
- 前籍校のある人は、在籍期間と修得単位数により、前籍校分の時間数を認定します。
- 特別活動の参加時間数については、「学習状況報告」送付時に個人別にお知らせいたしますのでご確認ください。
- 5月23日(金)に卒業年次生対象に、5月26日(月)に全年次生対象に「進路ガイダンス」を行います。
(1時間の認定)
(「進路支援からのお知らせ」P.10 参照)
- 5月24日(土)と6月28日(土)に、「街美化ボランティア」を行う予定です。
(1時間の認定。下記参照)
- 6月26日(木) 11:00～12:30に、「音楽鑑賞会」を行います。
くわしくは、校内掲示で案内します。(2時間の認定)
- 7月4日(金)に、「ホームルーム」を実施する予定です。(1時間の認定)
『学務の手引き 2014 年度版』(P.44)に掲載の予定から変更になっていますので、ご注意ください。
くわしくは、6月号の「学校通信」でお知らせいたします。
- 大学・短大・専門学校の「オープンキャンパス」に参加し、参加報告書を提出して認められれば特別活動として認定されます。
(1校につき2時間の認定)
(「進路支援からのお知らせ」P.11 参照)
- 学校が指定する芸術鑑賞(映画鑑賞[映画館]、展覧会[美術館]、ビデオ鑑賞[自宅])をし、申請書を提出して認められれば特別活動として認定されます。(1回につき2時間の認定)
- 校外での芸術鑑賞等については、前期は、6月・7月・8月号の「学校通信」でご案内します。

街美化ボランティア

5月24日(土)(予定)、6月28日(土)(予定)

16:00 から約1時間(雨天決行)

- 作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。
- その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。
(特別活動1時間。遅刻や途中で帰ったときは認定されません。)

事務室からのお知らせ

【各種奨学金、給付金について】

現在募集中の各奨学金について下記の表に記載しています。申込希望の場合は事務室へお申し出ください。それぞれ締切日が異なりますのでご注意ください。

(注意事項)

※各奨学金・給付金によって申し込みの条件が違います。募集要項や申請書をご確認のうえ申し込んでください。

※所得の制限や成績を問うものについては特によく確認してお申し込みください。予算枠や申請条件がある奨学金等については、申請しても採用にならない場合もあります。ご了承ください。

	名 称・内 容・金 額	申込書学校提出締切日																															
貸 与	日本学生支援機構 ・平成 27 年度大学等入学者 奨学生予約採用 (対象) 来年大学・短大・専門学校等に進学した場合の予約奨学金 (貸与月額) 下記表参照 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="4">第一種奨学金(無利子貸与)</th> <th rowspan="3">第二種奨学金 (有利子貸与)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">大学</th> <th colspan="2">短大・専修学校</th> </tr> <tr> <th>自宅</th> <th>自宅外</th> <th>自宅</th> <th>自宅外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立</td> <td>45,000 円</td> <td>51,000 円</td> <td>45,000 円</td> <td>51,000 円</td> <td rowspan="2">30,000 円・50,000 円・ 80,000 円・100,000 円・ 120,000 円から選択</td> </tr> <tr> <td>私 立</td> <td>54,000 円</td> <td>64,000 円</td> <td>53,000 円</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">上記貸与月額又は貸与月額 30,000 円のどちらかを選択</td> </tr> </tbody> </table> 入学時特別増額貸与奨学金 (初回基本月額に有利子奨学金を増額して貸与する制度) も同時に申し込みが可能です。金額は 10 万円・20 万円・30 万円・40 万円・50 万円から選択。	区分	第一種奨学金(無利子貸与)				第二種奨学金 (有利子貸与)	大学		短大・専修学校		自宅	自宅外	自宅	自宅外	国公立	45,000 円	51,000 円	45,000 円	51,000 円	30,000 円・50,000 円・ 80,000 円・100,000 円・ 120,000 円から選択	私 立	54,000 円	64,000 円	53,000 円	60,000 円	上記貸与月額又は貸与月額 30,000 円のどちらかを選択						第 1 回申込期限 (第一種・第二種) 6月27日(金) [候補者内定 10月下旬予定] 第2回申込期限 (第二種のみ) 11月14日(金) [候補者内定 2月下旬予定]
	区分		第一種奨学金(無利子貸与)					第二種奨学金 (有利子貸与)																									
大学			短大・専修学校																														
自宅		自宅外	自宅	自宅外																													
国公立	45,000 円	51,000 円	45,000 円	51,000 円	30,000 円・50,000 円・ 80,000 円・100,000 円・ 120,000 円から選択																												
私 立	54,000 円	64,000 円	53,000 円	60,000 円																													
上記貸与月額又は貸与月額 30,000 円のどちらかを選択																																	
給 付	大阪市奨学費(毎年申請が必要) (対象) 大阪市内に居住し、市民税 <u>非課税世帯</u> の家庭(生活保護世帯は除く)に属する生徒 (給付月額) 学習資金として、年額 72,000 円を上限として支給 ※学習資金として認められる品目・期間については募集要項参照。 また、請求の際には必ず領収書の添付が必要となります。 (交付方法) 11 月、1 月、3 月に交付予定	6月中旬頃																															

【住所等変更手続きについて】

■現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。あわせて郵便物が転送されるように郵便局に転居届を出してください。

■通学経路が変わる場合は、「**通学割引証申請カード**」を変更しますのであわせて提出ください。(即日発行はできません。)

■届出用紙は事務室にある他、『学務の手引き 2014 年度版』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

【高等学校等就学支援金について（対象者のみ）】

[2014年3月までに高校に入学の方]

- 2014年度高等学校等就学支援金については、加算申請をされている場合は、現在第1期分（6月まで分）の加算が認定されています。
- 第2期以降分（7月以降分）の加算申請については、再度平成26年度の所得証明書の提出が必要となります。現在の加算対象の方には5月下旬に提出のご案内をいたします。提出期限は6月末を予定しています。
- 今回（第2期以降分）の加算申請がない場合は、第1期（4～6月分）のみの加算額で「支援金」が決定してしまいますので、該当する場合は、期限を厳守ください。
- 申請された加算が認定された場合の前期学費のご案内は、7月上旬頃になります。ご予約ください。
- 新たに第2期以降分（7月以降分）の加算申請を予定している場合は、前述のとおり6月末までに手続きが必要です。申請書類をお渡しいたしますので事務室へお申し出ください。
- 前期講座登録を行わない場合は、就学支援金はありませんが、対象月数が減ってしまいますので「休学」の手続きとともに支援金の「停止」手続きを行ってください。

加算申請についての注意事項

- 加算の所得基準は、市町村民税の所得割額が保護者（父母）の合算です。基準額を超えている場合は申請できません。所得証明書も原則父母の分が必要です。
- 所得証明書は、市町村民税の所得割額及び扶養親族者数が分かるものが必要です。源泉徴収票および確定申告書（控）では受付できません。
- ひとり親家庭の場合は、「確認事項」1の留意事項にその旨記入ください。
- 年度の途中で婚姻またはその解消により、保護者に変更があった場合は、新たに申請書の提出が必要です。毎月初日の保護者の市町村民税の所得割額が基準となりますので、支給対象となる場合は必ずその時点で手続きを行ってください。

【加算対象基準額】（平成26年7月分以降）

市町村民税所得割額の金額が18,900円に①・②の合計を加えた金額未満であること

① 16歳未満の扶養親族の数×21,300円

② 16歳以上19歳未満の扶養親族の数×11,100円

（※16歳以上19歳未満…H7.1.2～H10.1.1生まれ（平成25年12月31日現在））

[2014年度新入学および編入学の方]

- 2014年度高等学校等就学支援金については、現在第1期分（6月まで分）まで認定されています。
- 第2期以降分（7月以降分）の申請については、再度収入状況の届出が必要になります。郵便にて必要書類や詳細についての案内を送付致しますので必ず期日までにお手続きください。
- 手続きされないまま期日を過ぎますと次年度まで支援金をうけることができなくなりますのでご注意ください。
- 学費のご案内は就学支援金の申請が認定された後の7月上旬頃になります。ご予約ください。
- 前期講座登録を行わない場合は、就学支援金はありませんが、対象月数が減ってしまいますので「休学」の手続きとともに支援金の「停止」手続きを行ってください。

【前期学費の納入について】

「前期学費納入案内」については、下記の日程でご案内を予定しています。
分割および延納を希望される場合は、学費の手続き期限までにお申し出ください。

[2014年3月までに高校に入学の方]

- 先日納入案内をお送りしたところです。納入期限日は5月30日（金）ですので期日までに
お手続きください。
- 「就学支援金」対象者で、「就学支援金加算支給申出書」を提出して加算の決定がされた生徒の学費
納入案内については、第2期分の申請受付確認後の7月上旬送付を予定しています。
詳細については前述の「高等学校等就学支援金について」をご確認ください。

[2014年度新入学および編入学の方]

- 就学支援金の申請が認定された後の7月上旬に送付を予定しています。

【レポートの提出について】

- レポートを提出する際には、以下の点に注意してください。
 - レポート集が届いたら、各レポート表紙に必ず個人別のバーコードシール（学籍番号・住所・名前・
講座名・教員名・レポート回数が印字されています）を所定の「貼り付け欄」に貼ってください。
特にレポートの回数をよく確認して貼るようにしてください。
 - バーコードシールを貼り忘れた場合は、レポートの持ち主が不明となります。提出前に十分確かめて
ください。
 - レポート提出は、直接学校へ持参する場合は事務室受付の提出用ボックスへ入れてください。
提出できる時間は9：15～17：00（平日）です。
レポートを学校へ郵送する際は、郵便の消印日が受付日となります。
レポート提出については、再度『学務の手引き 2014年度版』（P.8、9）をよく確認してください。
※レポートにバーコードシールを貼り間違えた場合は、学校では受け付けられず、返却されます。
そのために提出期限や最終締切日に間に合わなくなったとしても、本人の責任となりますので
注意してください。

【レポート等の再発行について】

- レポート等配布済みの書類を紛失した場合は再発行の手続きができます。所定の用紙に必要事項を
記入のうえ、事務室で再発行の手続きを行ってください。
- レポート、バーコードシールの再発行は、正確に記入して申し込んでください。
- レポートの再発行日は原則として次のスクーリング日（月・水・金）となります。

【通学割引証の発行について】

■本校への通学の際には、交通機関の通学用割引回数券が利用できます。

回数券の残数が少なくなったら、「**通学割引証申請カード(ケース入り)**」を事務室窓口のカード回収ボックスへ提出して「通学割引証」の発行申請をしてください。

「通学割引証申請カード(ケース入り)」は毎回申請時に提出が必要ですので大切に保管してください。

■「通学割引証」の有効期限は一ヶ月です。期限内に駅の発売所で回数券を購入してください。

その際必ず「通学割引証」をケースから出し、生徒証明書を提示してください。

詳細は、『学務の手引き 2014 年度版』(P. 32、33)をよく確認してください。

進路支援からのお知らせ

スクーリングが始まって2週間が過ぎました。レポートの作成は順調に進んでいるでしょうか。スクーリング期間中は、自分自身の生活のリズムを整え、学習の習慣を確立することが何よりも大切です。その上で、各自の進路や学力に合わせて発展的な学習を進めるようにしてください。

【『第1回進路ガイダンス（卒業年次生対象）』のお知らせ】 5月23日（金）

■卒業年次生を対象に、次のように『第1回進路ガイダンス』を実施します。申し込みは不要です。

◎日時：5月23日（金）15:00～15:50 <<6限>>

◎教室：①AO入試ガイダンス [309 教室] ②就職ガイダンス [多目的教室]

■進路未定の人でもいずれかのガイダンスに参加し、進路について考える機会にしてください。

■就職ガイダンス [多目的教室] では、適性検査も実施します。

■進路ガイダンスに参加すると特別活動1時間が認定されます。

【『第2回進路ガイダンス（1～3年次生対象）』のお知らせ】 5月26日（月）

■全年次生を対象に、次のように『第2回進路ガイダンス』を実施します。

◎日時：5月26日（月）15:00～16:00

◎教室：①ネイル講座（爪の長さを整え磨く） [309 教室]

②初級医療事務講座（医療費算定の基礎知識・実践） [306 教室]

※事前予約が必要となりますので職員室受付カウンターで申し込んでください。

■進路ガイダンスに参加すると特別活動1時間が認定されます。

【『保護者ととともに進路を考える会』のお知らせ】 6月28日（土）

■卒業年次生の保護者の方を対象に、次のように『保護者ととともに進路を考える会』を実施します。

◎日時：6月28日（土） 午前（10:00～11:30）：大学・短大説明会／就職説明会

午後（13:30～14:30）：専門学校説明会

◎対象：卒業年次生の保護者・生徒の皆さん

※指定校一覧表はこの会で配布します。以後は学校通信でお知らせしていきます。

■指定校推薦入試の推薦基準（前月号より抜粋）

本校の基準として、卒業予定年度の前期終了時点で60単位以上（高認なども含む）修得していること、
『校内生活上の決まり』の『注意』を2回以上受けていないことなどが推薦の条件となります。

本年度より、大学・短大の指定校推薦を希望される場合は、1回以上の模擬試験受験が必要です。

また、各高校への依頼人数に枠があるため、定員を超えて申込みがあった場合、校内選考が行われます。

なお「指定校推薦」はすべて「専願」です。合格した場合、絶対に入学辞退はできません。

進学について

【学力は伸びる】

着実に学習を続けていけば、学力は伸びていきます。ただし、成績の伸び方は一様ではなく、特に最初のうちはなかなか成績に反映されないものです。しかし、努力を続けていくと、必ず成績は上向きに転じ、成績は安定してきます。あせらずあきらめず、努力を続けてください。

【『オープンキャンパス』に参加しよう】

- 大学・短大・専門学校の『オープンキャンパス（学校見学会）』が行われています。進学希望者は、『オープンキャンパス』に積極的に参加し、自分の目で各学校の特色を確認しましょう。
- AO入試の受験を考えている生徒は、学校によってオープンキャンパスへの参加をAO入試の条件としているところもありますので、注意してください。
- 『オープンキャンパス』に参加すると特別活動2時間（上限は10時間）が認定されます。
1階職員室カウンターで『参加報告書』を受け取り、必要事項を記入して提出してください。
その際、当日配布されたプリントや担当者の名刺など、参加の証明になるものを貼ってください。

【予約奨学金について】

- 日本学生支援機構に「予約奨学金」の制度があります。「予約奨学金」とは、大学・短大・専門学校へ進学を希望する卒業年次生が、入学前に（高校在学中に）奨学金を予約する制度です。進学先が確定していなくても申込みができます。詳しくは学校からの通信物などで確認してください。

【国公立大学推薦入試について】

- 国公立大学でも推薦入試を行っている大学があります。
- 詳しくは職員室カウンターまでお問い合わせください！！

就職について

【縁故紹介や一般求人を見て就職する場合】

- 家族や知り合い等の紹介（縁故紹介）で就職をする場合、また新聞やインターネット、求人情報誌を見て応募する場合、各自それに応えられるよう備えてください。現在のアルバイト先からそのまま正社員に採用というケースも見られます。
- 応募に際しては、高校からの書類は不要です。履歴書は市販のものを使用することになります。

【学校紹介で就職する場合】

- 求人票の閲覧は7月から始まります。1階職員室カウンターで担任もしくは進路担当者まで申し出てください。関心のある会社があれば応募前職場見学に参加するようにしてください。
- 応募は9月上旬（選考は9月中旬）から始まります。同時に2社以上応募することはできません。
- 内定されると辞退することができません。応募の際に慎重に考えてください。
- 最初の選考で内定が得られなくても、あきらめずに何度も応募する姿勢が大切です。
- 学校紹介で就職する場合、卒業予定年度の前期終了時点で60単位以上（高認なども含む）修得見込であることが必要です。

生徒支援からのお知らせ

◆ 校内生活について

〔1〕 学校生活上の注意事項

前期が始まり、第2回のスクーリングがほぼ終了したころだと思います。長い春休みからの気持ちの切り替えはできたでしょうか。

このスクーリング期間を有意義に過ごしてもらいたいと思います。

4月の学校通信でも掲載した通り、『2014年度版 学務の手引き』にある「学校生活上の決まり」はみなさんが規則正しく充実した学校生活を送ってもらうために、最低限守ってもらう必要がある規則です。そのうち、以下の4点については特に注意してください。

(『2014年度版 学務の手引き』P.40～P.41 参照)

① 校内および学校周辺は禁煙です。

未成年者の喫煙は法律により禁止されています。また、成人も学校にいる間は喫煙を禁止します。学校周辺についても、校内同様喫煙を禁止します。

② 5階以上と地下フロアー（駐輪の場合を除く）の生徒立ち入りを禁止します。

授業などで使用する場合や特別な事情があると認められる場合を除き、これらの場所への生徒の立ち入りを禁止します。

③ 自動車・バイク（原付を含む）での通学は禁止です。

学校には自動車・バイク（原付を含む）での通学はできません。

電車・バスでの通学や、学校近くからの通学である場合は自転車を利用してください。

④ スクーリング時間中のマナーを大切に。

私語や携帯電話の使用は、他の人にとってはスクーリングに集中できないなど迷惑になりますので、やめましょう。また、登録していないスクーリングに出ることはできません。協力してよい授業環境をつくりましょう。

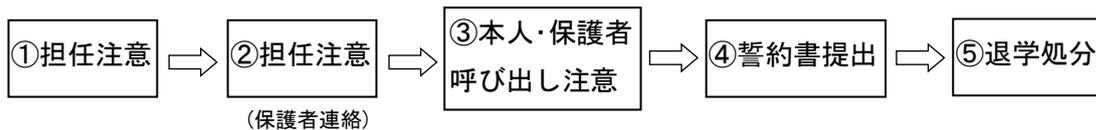
※ 貴重品は自己管理!!

貴重品は確実に自分で管理してください。昼休みや休憩時間に、携帯電話・財布などの貴重品を教室に置いたままその場を離れることがないようにしてください。短い時間であっても、持ったまま行動しましょう。

校内ではいろいろな生徒が過ごしています。みんなが快適に過ごせるように、「学校生活上の決まり」の趣旨を理解し、守ってください。なお、それが守られない場合、次ページのような措置をとります。

注意

以上の4点を含めた「学校生活上の決まり（『2014年度版 学務の手引き』P.40）」が守られない場合は、以下の順に従って、保護者同伴の上での厳重注意や、より強い措置を取ります。
なお、学校生活に重大な支障をきたすような違反行為があったときは、下記の手順を踏まずに処分をすることがあります。



- ※「④誓約書提出」では、本人・保護者呼び出しのうえ必要な書面に署名をしてもらいます。
- ※学校は保護者の方と連携しながら、生徒が違反行為を繰り返すことがないように指導していきたいと
思います。保護者の方のご協力をよろしくお願いいたします。
- ※何らかの注意処分を受けている人は、宿泊を伴う講座の登録ができません。
また、大学などの指定校推薦が受けられない場合があるので、注意してください。

〔2〕スクーリングに関して

- ・遅れてきたり、途中で退席した場合は、原則としてスクーリング出席とは認められません。
やむを得ず授業に遅れて途中から入室になってしまう場合は、直接教室へ行って出席できるかどうかを確認してください。
- ・交通機関の遅れにより延着証明書が発行される場合は、「延着証明書」を持参すれば出席について配慮する
場合があります。
- ・いずれにしても時間に余裕を持って通学してください。
- ・スクーリングには、マナーを守って参加しましょう。授業を妨害するような行為があると、退席を命じられ
出席が認められないこともあります。（処罰の対象となります。）
- ・「学校感染症」（『学務の手引き2014年度版』P.38）による欠席の場合は、状況により配慮します。
- ・放課後（月・水・金曜日の16:00～17:00）および昼食時は、空いている教室を使うことができます。
ただし、理科教室・家庭科教室・コンピュータ室などの特別教室や更衣室は、通常は使用できません。
- ・自習には自習室（通常は2階ライブラリー／月・水・金使用可）を使用してください。
自習室では歓談・食事は禁止です。



◇スクーリングが始まりました。学校生活の上で、何か不都合や困ったことがあるときは、
早めに担任等に相談しましょう。

◆学習アシストルーム

本校では「スクーリングには出席できるけどレポートが心配…」という方を対象に「学習アシストルーム」を設けています。

「自習」スタイルでレポートの学習を進めていき、わからないところはスタッフが一緒に考えながら、レポート作成のアシストをします。

※「学習アシストルーム」は、通常スクーリング期間中の火曜日・木曜日 13:00~16:00 に 306 教室で行っています。

※利用するためには事前の申し込みが必要です。スクーリング期間途中からの申し込みも可能です。
※詳しくは同封の案内をご覧ください。

◆保健室からのお知らせ

*保健室で使用する薬について

保健室では外科的なけがの処置として、主に以下のものを使用しています。

- ・消毒液
- ・湿布薬
- ・点眼薬

※まれにアレルギー反応が出る場合があります。使用前に確認しますが、自覚症状がある人は申し出てください。

※内服薬は置いていませんので、必要のある人は各自で用意してください。

◆カウンセリングスペースからのお知らせ

《カウンセリング》

*開室時間と担当者

月曜日：川口彰範さん 13:30 ~ 16:30

水曜日：西村博子さん 13:30 ~ 16:30

金曜日：道嶋公子さん 13:30 ~ 16:30

※保護者の方もご利用いただけます。お問い合わせ、ご予約は担当（川口・後藤）までご連絡ください。

◆フィジカルサポートスペースからのお知らせ

スクーリング期間中は
何度でも無料です!

《フィジカルカウンセリング》

体や運動、医学に関する相談、助言、カウンセリング、処方を行っています。

対象

- ・正しいダイエット
 - ・基礎体力の向上
 - ・カラダのゆがみ、しせい きょうせい姿勢の矯正
 - ・歩行フォームの改善
 - ・体質改善、体調管理
 - ・怪我や疾病後のリハビリ
 - ・体育の授業が苦手
 - ・筋力や持久力のアップ
 - ・各種スポーツの競技力アップを目指すトレーニング
 - ・スポーツ・体育・いりようかんけい医療関係への進路相談
- *職員室に備え付けの用紙に必要事項を記入のうえ、予約をしてください。
*詳細は別紙リーフレットを参照してください。
*フィジカルサポートスペースについてのお問い合わせは、内山まで。

ねんかんせいぐ
大阪YMCA 2014年度 年間聖句

ゆる あ
赦し合いなさい。

しゅ
主があなたがたを

ゆる
赦してくださいように



コロサイの信徒への手紙 3章 13節

ミ

ニ

手

話

コ

ー

十

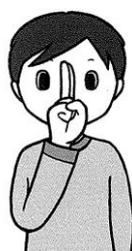
ー

「おはよう・こんにちは・こんばんは」を手話で表現すると…



おはよう

意：枕から離れる様子。
同：「朝」「起きる」



こんにちは

意：人差し指（短い針）
と中指（長い針）で
「12時」
同：「昼」



こんばんは

意：カーテンをしめる
同：「夜」

